

子ども総合センターだより

あした

明日もしあわせ通信 (第58号) 令和3年4月号

誰も叶わない夢

通勤中にいつも大谷池周りの小道を走っている。冬になると生い茂っていた葉が、道を褐色のじゅうたんに変える。数本の桜の木も、枯れ木のようにたたずむ。まもなく芽が出て、満開の花が咲く。葉をすべて落とした木のどこに、発芽し花を咲かせるエネルギーが隠れているのか。満開の桜も潔く散っていく。なぜあんなにも美しいのか。ある人は、年中咲いていたら美しいと感じない。散るからなお美しいのだと。



母へのはっきりした記憶は、小学生の頃から始まる。必死で働く母の顔は眩しかった。もうすぐ母は88歳。今なお車を運転するが、心配は絶えない。

いつまでも一緒にいられないと思うと、これまでのことに、ただただ頭が下がり、愛おしくてたまらない。

人はなぜ別れがあるのか。受けた愛情への感謝と、当たり前そこにいることがどれだけありがたいかを教えてくれているのだろう。そこにいる愛おしいあなたと、いつまでも一緒にいたい。

しかし、それは、誰も叶わない夢である。

(DOIG)

適応指導教室「はばたき」～「心の居場所となれる教室を目指して」

令和3年度がスタートし、はばたき教室が開室して6年目となりました。

初年度に通っていた生徒たちも大学生や専門学校生となり、高校生も次の学年へと進級するなど、それぞれの場所で頑張っているうれしい知らせが届きます。

当時は学校に行けなくなり、苦しんだり悩んだりしながらやっとの思いではばたき教室に通っていた子どもたちでしたが、時間をかけて教室の中でゆっくりと心を開いて自分の気持ちを話せるようになり、やがて元気になっていきました。

毎年はばたき教室から飛び立っている子どもたちは、つらく悔しい思いをすることもありました。しかし、その分時間をかけて自信をつけ、高校で頑張れています。

はばたき教室には現在、小学生・中学生が元気に教室に通っています。学校に行くにくなかった子どもたちに「社会的自立や学校復帰ができるように支援」をします。

今年度も、子どもたちの心の居場所となり、安心して過ごせるはばたき教室を目指して、指導員が一丸となって努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

不登校や適応指導教室に関する相談 (☎089-989-5022 080-2974-4581)

アナログなゲームもいいものです

発達はやや遅い4歳の孫と遊ぶのに何がいいかなあと、同じくらいの孫を持つ知人から、ぐらぐらゲームを紹介され、早速購入してみました。

このゲームは、安定していないぐらぐらしたタワーに、振ったさいころの色と同色の人形を同色のタワーの場所に落ちないように乗せるゲーム。

じゃんけんで順番を決めて、自分の順番まで待つ。ルールを理解する。色を認識する。人形の置き場所を理解する。慎重に人形を置くために、指先の細やかな運動。グラグラ動くタワーにハラハラと動く感情。うまく乗せて、ホットうれしい気持ち。タワーが大きく動いて乗せた人形がガチャンと落ちて「あ～あ」とショックな気持ち。

「仕方ないなあ」と気持ちを切り替えて、感情のコントロール。家族で目を合わせて楽しさを共有する時間。勝っても負けてもおしまいと気持ちを収める。

何気ない遊びの中に子どもの成長発達に必要な要素がたくさん含まれています。

今日は理解しきれなくてできなかったゲームが、大人がしているのを見ながらまねて、いつの間にか一緒に楽しめます。子どもと一緒にゲームを楽しみながら、笑顔で楽しいコミュニケーションをとりましょう。(I)

センター長のつぶやき

もう10年、まだ10年

2月13日23時8分 福島県沖を震源とするM7.3の地震が発生した。すぐに山元町の知人に連絡を入れた。電話に出ることはなかった。次の日、折り返しの電話があった。(山元町の朝 2016.12.25 撮影)



地震の家屋への影響は、今回の方が激しく、冷蔵庫の中身が飛び出し、棚は倒れ部屋中が物で散乱し、10年前と同じく断水になり、給水車に頼っていると。

さらに、コロナ禍もあり避難所開設の準備も大変で、みなさん苦勞されていると。

早速54ℓの水・給水バケツ・デコポンを送った。宮城の配送センターが混雑し配送が遅れたが、断水には間に合った。

3月11日 震災からもう10年
まだ10年。祈 (DOIG)

《巡回発達相談》

あたらしい春

昨年の春、華やかなセレモニースーツ姿の父母に手を引かれて歩く可愛い女の子に出会いました。テレビのCMに出てきそうな穏やかな家族の光景が鮮明に思い出されます。入園への緊張や期待、希望の春から、早一年。「お友だちはできましたか。たくさん遊べましたか。」と再び出会えたら訊いてみたいものです。

通勤時に園まで送っていくお父さん。お子さんはパパと登園するのがうれしいのでしょう。いつも笑顔です。通学路の脇の雑草を引いて歩道を綺麗にしてくださる方がいます。新しい出会いの春を迎え、子どもたちを地域の皆が応援しています。私たち相談員も、心新たに、子どもたちの傍らで遊んだり話したりしながら見守っていきたいと思います。

「一期一会」大切な出会いが今のあなたをつくっている・・・この言葉を胸に留めていきたい。(K)

伊予市子ども総合センター
〒799-3127 伊予市尾崎3-1
伊予市総合保健福祉センター2階
☎989-6226